



サンドエロージョン用ゴムシート(水道管・ガス管に使用出来ます)



使用目的 地中埋設水道管の継手部或いは折損部からの漏水が周囲の土砂を巻き込んだサンドエロージョン現象を生じて、隣接するガス管を摩耗し、穴をあけることがあります。当該品は、この摩耗損傷の防止或いはガス漏れ発生までの時間を遅延させるためにガス管または水道管に巻き付けます。

特徴 耐摩耗性・耐薬品性に優れています。

商品コード	厚さ (mm)	巾 (mm)	長さ (m)	色	重量 (kg/巻)	梱包 (巻/箱)	定価 (円/巻)
★ 05180696	2	350	10	黒	9	2	21,390

★販売は箱単位となります。

商品コード	厚さ (mm)	巾 (mm)	長さ (m)	色	重量 (kg/枚)	梱包 (枚/箱)	定価 (円/枚)
★ 05180524	6	330	1.02	黒	2.2	5	6,930

★販売は箱単位となります。

水道関連商品

参考資料

公益社団法人日本水道協会 水道維持管理指針2016 P462より引用

表8.5.15 主な保安装置

1 防設工事	ワイヤー等により施設を吊る。
吊防泄	鋼材により施設を受ける。
受防護	鋼材等により施設を固定し、横揺れ、抜出し等に対する防設を行う。
固定装置	
横揺れ防止装置	
抜出し防止装置	
2 防設工事以外の保安装置	
移設切り回し	施設を影響外へ移設する。
仮配管	施設を影響外へ仮移設し、後日復元する。
管種変更	管種の強度の大きい管に取替えて安全を確保する。
使用の一時停止	工事期間中、一時的に断水するなど、施設を停止する。
伸縮可とう管の設置	伸縮可とう管を設置し、影響を吸収できるようにする。
継手補強	伸縮可とう管を設置し、影響を吸収できるようにする。
緊急用制水弁の設置	緊急断水時に備えて制水弁を設置する。
外面塗装の補修	損傷を受けた外面塗装の補修を行う。
沈下測定装置の設置	施設への影響を確認するため、沈下測定装置を設置する。
サンドエロージョン対策	ゴムシートや耐磨板等を設置する。

4) 水道施設との離隔

既設管と他の埋設物や構造等と離隔距離は、安全確保と将来の維持管理及びサンドエロージョン(サンドブラスト)(この章では以下「サンドエロージョン」という)対策等の観点から、30m以上確保する。これ未満の離隔は、給水管の分岐工事や管の修理に支障となる。万一接触した場合は、集中荷重を受けて管が折損するおそれがある。

サンドエロージョン現象とは、水道管の漏水によって発生した水流が周辺の土砂を巻き込み、水と土砂が混合した状態で他埋設管に継続的に衝突して管体を消耗させ、孔を開ける現象である。近年、この現象による近接ガス管等の破損事故が確認されており、ガスの供給停止、流入した漏洩水の排除に伴う費用を賠償しなければならなくなるといった問題を引き起こしている。サンドエロージョン現象の抜本的対策としては、老朽化した管路の更新や漏水の早期発見、早期修理に努める必要があるが、これまでの報告では、30cm以上離隔を確保すれば当該現象が発生しにくいとされている。また、必要離隔の確保が困難な場合は、対象水道管にゴムシート等を設置するなどの応急的対策を講じることが望ましい。

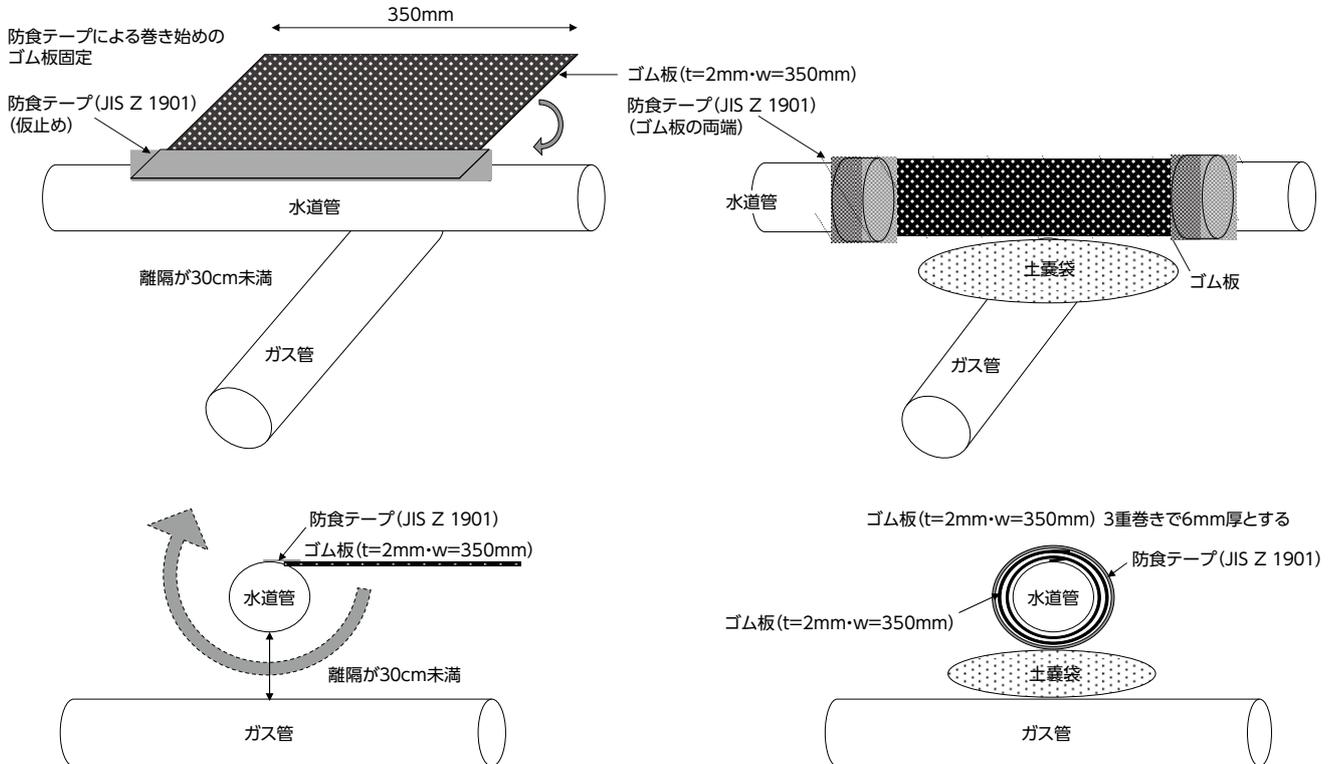
(図8.5.14参照)

参考資料

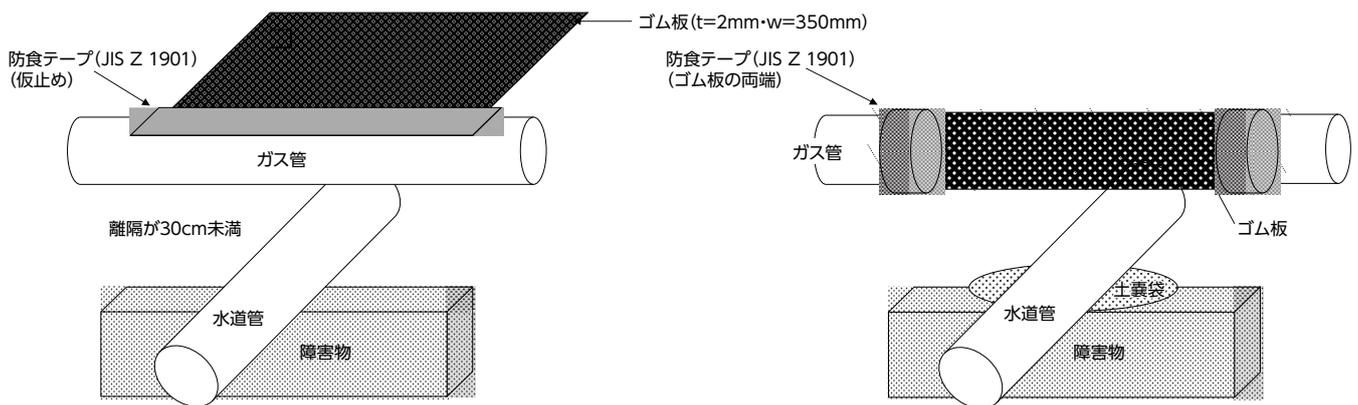
公益社団法人日本水道協会 水道維持管理指針2016 P463より引用

サンドエロージョン現象によるガス供給支障事故防止施工方法(ゴム板および耐摩板による防護)

1. 離隔が30cm未満の場合による水道管への施工



2. 障害物があり、水道管に施工できない場合



3. 水道管とガス管が接して布設してある場合

